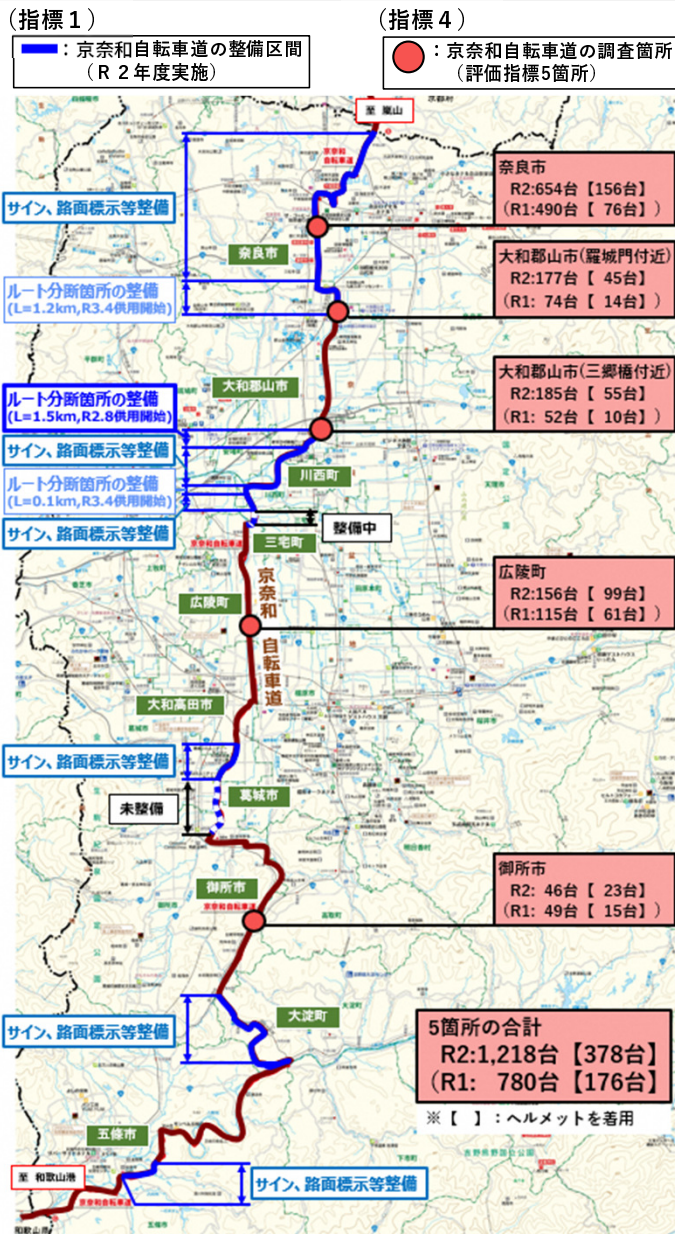


分野	評価指標		単位	参考 H30年度	R1年度	R2年度	参考評価	出典など	
観光振興	1	サイクリングルートの整備延長（京奈和自転車道）		km	15	40	71	↗	
	2	自転車の休憩所、サイクリストにやさしい宿等の認定数	自転車の休憩所 (総認定数)	施設	191	195	196	↗	
	3		サイクリストにやさしい宿 (総認定数)	施設	60	61	62	↗	
	4	自転車交通量（定点計測箇所）		台/日	-	780	1,218	↗	京奈和自転車道における ルート上5箇所 調査日（休日） 9時～19時の合計値
	5	サイクルイベントの申込者数 （「山岳グランfondin吉野」、 「ツアー・オブ・奈良・まほろば」、 「ヒルクライム大台ヶ原since2001」 の合計値）	サイクルイベント (全申込者数)	人	1,880	1,713	未実施	—	令和2年度はコロナ禍のため未実施
	6		サイクルイベント (県内申込者数)	人	469	434	未実施	—	
	7		サイクルイベント (県外申込者数)	人	1,411	1,279	未実施	—	
まちづくり	8	自転車通行空間の整備延長（県道のみ） ※京奈和自転車道は除く		km	0	0	0.7	↗	
	9	自転車の利用率 (県民アンケートで、自分が自転車を利用していると回答した人の割合) ※無回答を除いた数値		%	-	35.4	30.2	↘	県民アンケート ※各年度1月公表
	10	サイクリングの実施率 (県民アンケートで、運動・スポーツを実施した人のうち、過去1年以内にサイクリングを実施したと回答した人の割合) ※無回答を除いた数値		%	5.4	5.1	5.7	↗	県民アンケート ※各年度1月公表
	11	市町村版自転車活用推進計画の策定自治体数		市町村	0	0	1	↗	
安全・安心	12	自転車事故の発生件数	自転車の人身事故	件	679	543	467	↗	各年度の数値は、1月～12月の事故件数
	13		自転車事故構成率	%	16.9	16.3	16.7	↘	
	14	損害賠償保険や自転車保険の加入率 (県民アンケートで、損害賠償保険や自転車保険等に加入していると回答した人の割合) ※無回答を除いた数値		%	-	61.9	66.1	↗	県民アンケート ※各年度1月公表

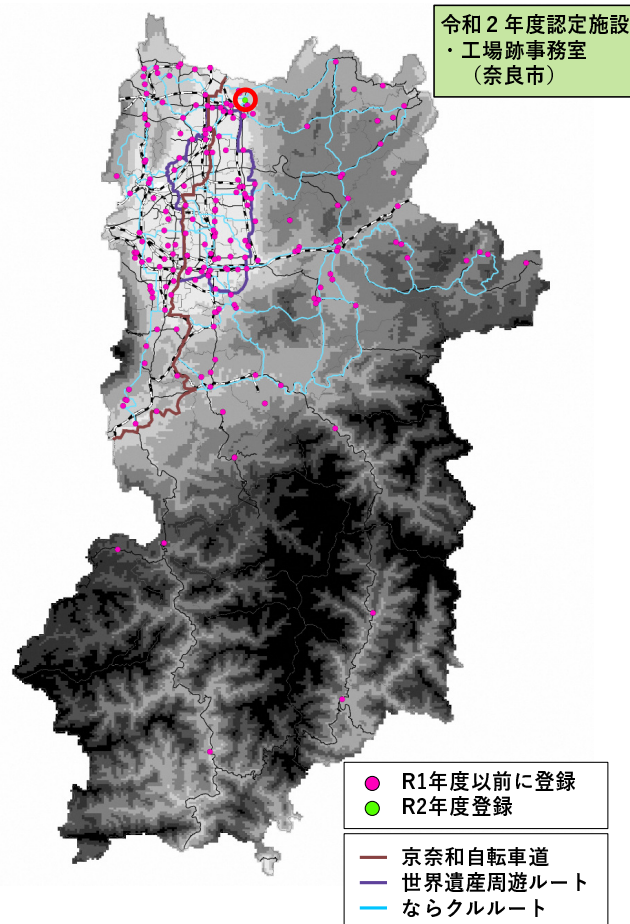
指標 1 サイクリングルート of 整備延長 (京奈和自転車道)

- 令和2年度は32km(うち、1.5km供用開始)を整備し、整備延長は約71/75km。



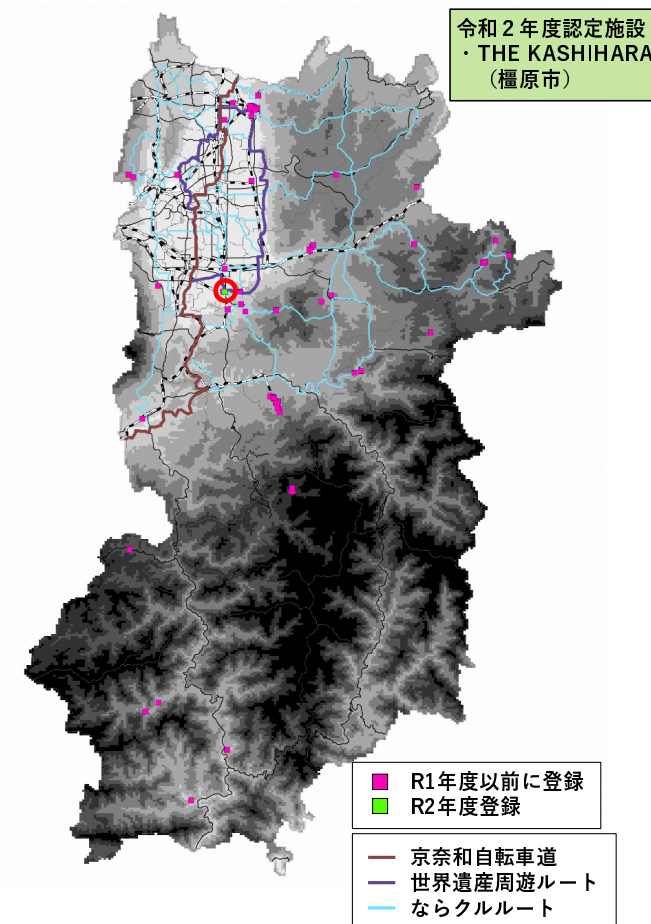
指標 2 自転車の休憩所の認定数 (総認定数)

- 総認定数は、令和元年度の195に対して1施設増加。(令和2年度末時点:196施設)



指標 3 サイクリストにやさしい宿の認定数 (総認定数)

- 総認定数は、令和元年度の61に対して1施設増加。(令和2年度末時点:62施設)



指標 4 自転車交通量 (定点計測箇所)

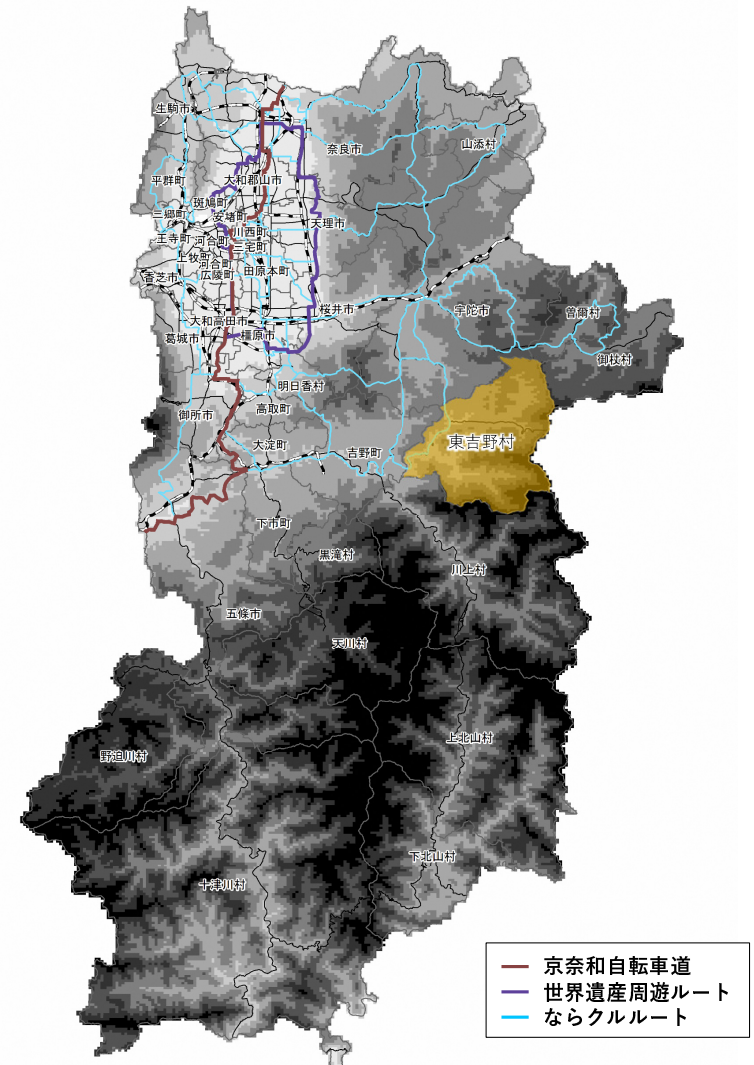
- 京奈和自転車道のルート上5箇所における、休日・9時~19時の自転車交通量は、全体で780台から1,218台(約1.6倍)、ヘルメット着用者で176台から378台(約2.1倍)に増加。
- 特に、大和郡山市内での交通量が増加しており、羅城門付近で約2.4倍【ヘルメット着用:約3.2倍】、三郷橋付近で約3.6倍【ヘルメット着用:約5.5倍】増加。

指標 8 自転車通行空間の整備延長（県道のみ）
※京奈和自転車道は除く

- 令和2年度は、京奈和自転車道を除く県道の自転車通行空間の整備として、奈良工業高等専門学校付近（大和郡山市内）の矢田寺線L=0.7kmで矢羽根型路面表示等の整備が完了。

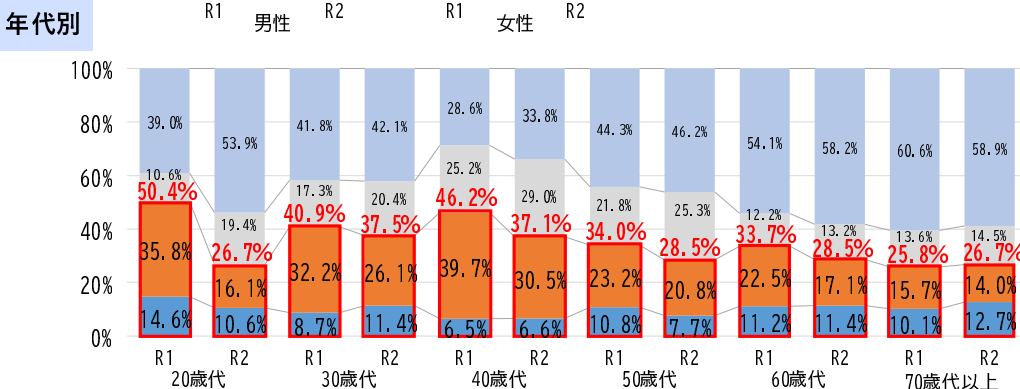
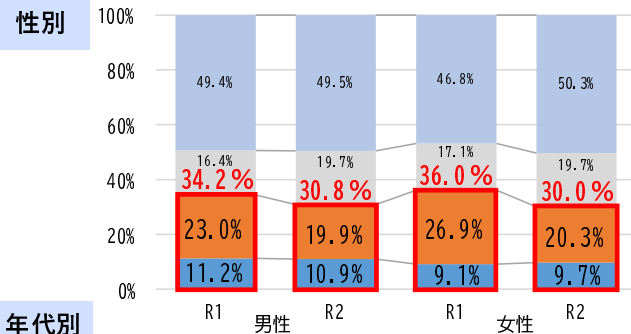
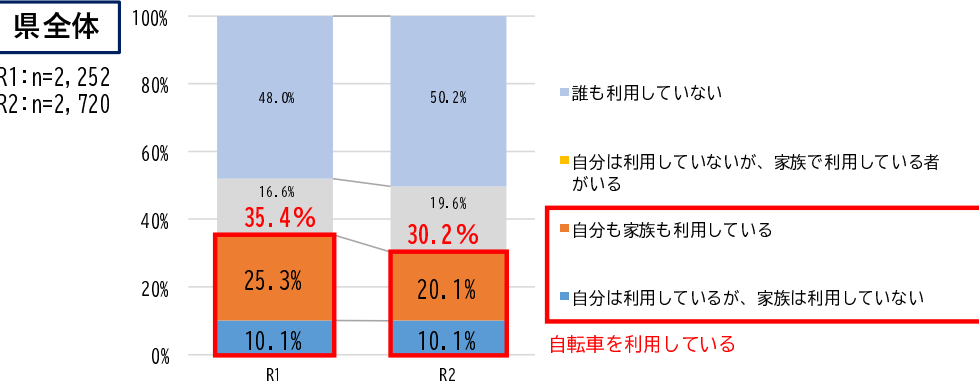
指標 11 市町村版自転車活用推進計画の策定自治体数

- 東吉野村において、令和3年3月に県内市町村で初めて「東吉野村自転車活用推進計画」を策定。



指標 9 自転車の利用率
(県民アンケート調査より)

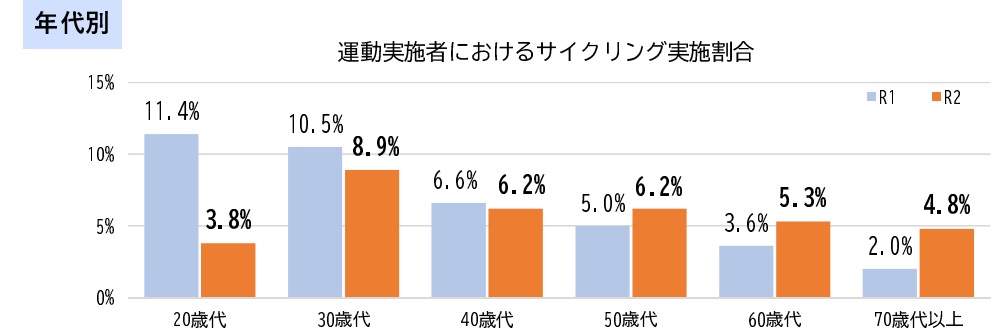
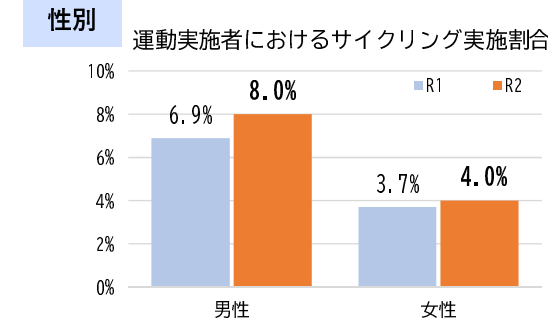
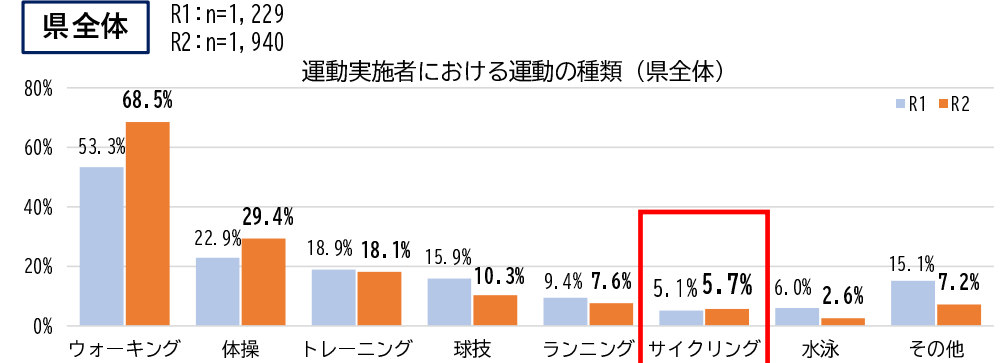
- 自転車の利用率は、県全体で35.4%から30.2%とやや減少している。
- 性別では、男性、女性ともに低下しており、女性の方が利用率の低下が大きい。
- 年代別では、20歳代の利用率が大きく減少しているのに対し、70歳代以上ではやや増加している。



※出典：奈良県 県民アンケート調査を基に作成

指標 10 サイクリングの実施率
(県民アンケート調査より)

- 運動実施者のサイクリング実施割合は、県全体で5.1%から5.7%にやや増加している。
- 性別では、女性はほぼ横ばいであるのに対し、男性は増加している。
- 年代別では、20～30歳代では減少しているのに対し、50歳代以上では増加の傾向。特に70歳代以上では2倍以上の増加となっている。

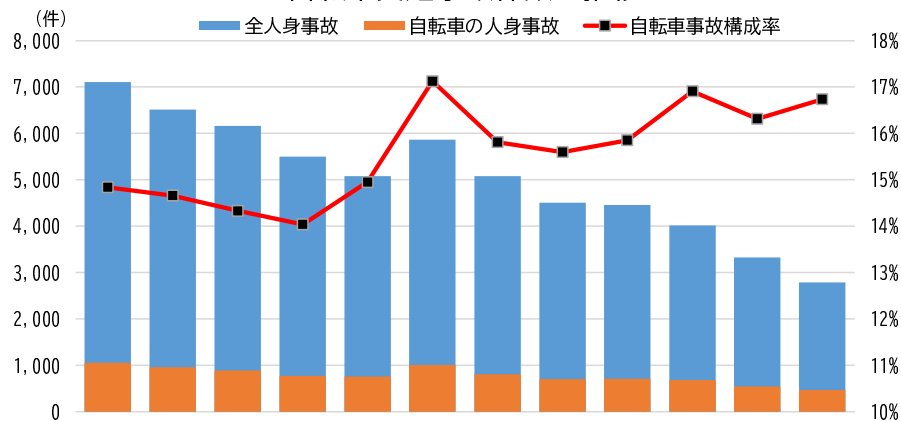


※出典：奈良県 県民アンケート調査を基に作成

指標 12・13 自転車事故の発生件数
(自転車的人身事故・自転車事故構成率)

- 全人身事故件数、自転車的人身事故件数ともに、平成26年以降は減少傾向となっている。
- 自転車事故構成率は、令和2年には16.7%と、0.4%上昇している。

自転車交通事故件数の推移



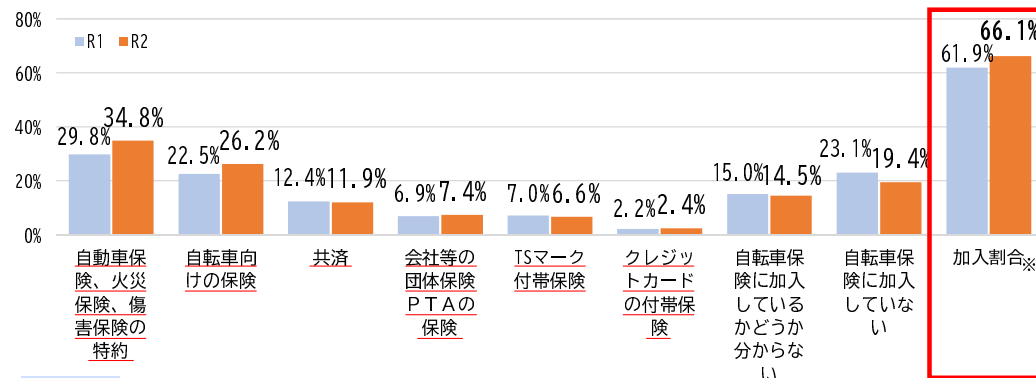
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全人身事故	7,111	6,515	6,167	5,499	5,076	5,868	5,078	4,507	4,460	4,016	3,328	2,790
自転車の人身事故	1,055	955	884	772	759	1,005	803	703	707	679	543	467
自転車事故構成率	14.8%	14.7%	14.3%	14.0%	15.0%	17.1%	15.8%	15.6%	15.9%	16.9%	16.3%	16.7%

※出典：奈良県警提供データ

指標 14 損害賠償保険や自転車保険の加入率
(県民アンケート調査より)

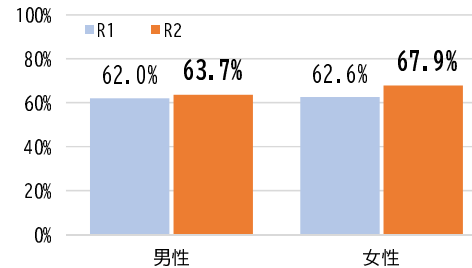
- 損害賠償保険や自転車保険の加入率は、県全体で61.9%から66.1%に増加している。
- 性別では、男性よりも女性の方が加入率の増加が大きい。
- 年代別では、20～40歳代と60歳代で増加しており、特に20歳代では約2倍となっている。

県全体 R1: n=937 R2: n=1,183 損害賠償保険や自転車保険の加入状況 (県全体)

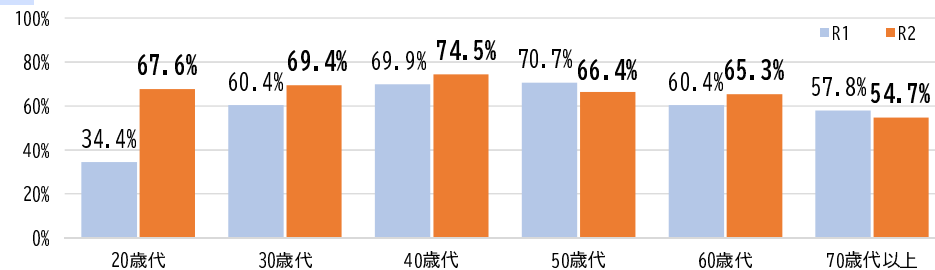


※【加入割合】は、無回答を除いた有効回答者から、「自転車保険に加入しているかどうか分からない」「自転車保険に加入していない」を除いた、何かしらの保険に入っている人の割合

性別 損害賠償保険や自転車保険の加入割合



年代別 損害賠償保険や自転車保険の加入割合



※出典：奈良県 県民アンケート調査を基に作成